

# CallManager CallerID 機能に関する問題

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[CallManager およびコーリングパーティ名前](#)

[IE を表示する](#)

[ISO ベースの Q.SIG](#)

[NI2/NI3 CNID \(ベルコア GR-1367\)](#)

[CallManager 4.x](#)

[共用 ライン](#)

[QSIG を使用した場合ネームと呼出すこと](#)

[ネームディスプレイに on Cisco 問い合わせることで抜けている最初文字 7942 IP 電話と](#)

[関連情報](#)

## 概要

現在 PBX システムでインフラストラクチャが急速に変換されており、さらに重要なのは公衆電話交換網 (PSTN) 全体が純粋なデジタルワールドになっています。その結果、たとえば、発信者 ID、発信者名配信などの拡張機能が出現しました。発信者名配信とは、単に (発信側の番号に優先して、または追加して) 発信側から着信側に渡される英数字のテキストを指します。発信者名配信は、PRI 回線を介してのみ使用できます。

Cisco Unified CallManager はまた方法の各ステップを展開させました。Cisco Unified CallManager 3.3(3) の出現で、CallManager および関連するゲートウェイが PSTN か PBX とネーム情報と呼出すことを交換できる 3 つのメソッドがあります:

- デ스플레이 Information Element (IE) によるコーリングパーティ名前
- ISO ベースの Q.SIG
- National ISDN 3 呼出すネーム識別配信 (NI3 CNID ベルコア GR-1367)

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- [音声ゲートウェイの概要](#)

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CallManager 3.1(x)、3.2(x) および 3.3(x) および 4.x

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## CallManager およびコーリングパーティ名前

このセクションは Cisco Unified CallManager および関連するゲートウェイがネーム情報を呼出すことを交換できる 3 つのメソッドのそれぞれを説明します。

### IE を表示する

Cisco CallManagerバージョン 3.1(x) および 3.2(x) Q.931 PRI プロトコルのディスプレイ IE を通してネーム デリバリを呼出すサポート。このオプションは PBX または PSTN リンクがディスプレイ IE 内のテキストメッセージを、H.323 インタークラスタ トランクか Media Gateway Control Protocol (MGCP) ゲートウェイを通して理解し、処理し利用できましたり接続されます。[図 1](#) インタークラスタ トランクで選択されるディスプレイ IE チェックボックスを示します。

図 1 – IE 配達オプションを選択されます表示する

### ISO ベースの Q.SIG

Cisco CallManagerバージョン 3.3(2) は ISO ベースの Q.SIG プロトコルのための基本的な音声コール サポートおよび CallerID およびコーリングパーティ名前を可能にするいくつかの補足機能を導入しました:

- Calling Line ID Presentation (CLIP)
- 呼出しますネーム ID プレゼンテーション (CNIP) を
- 接続されたネーム ID プレゼンテーション (CONP)
- Calling Line ID Restriction (CLIR)

ゲートウェイが ISO ベースの Q.SIG のために設定される場合、CNIP および CONP は Q.SIG ファシリティ IE の内で渡されます。[図 2](#) 設定される 関連するパラメータの Q.SIG ゲートウェイ コンフィギュレーションを表示します。

### 図 2 – Q.SIG ゲートウェイコンフィギュレーション

注: 設定されて ISO ベースの Q.SIG がすべての呼出すネーム情報は Q.SIG ファシリティ IE をネーム情報の呼出を交換するのに使用します。このピクチャは選択不可能になるファシリティ IE オプションで NI2/NI3 ベルコアを [NI2/NI3 CNID \(ベルコア GR-1367\)](#) セクションが論議する 1367 の規格使用するときこのオプションがにだけ関連しているので名前を呼出す送信を示します

。

注: 送信は MGCP ゲートウェイでだけ名前を IE が一方送信する MGCP ゲートウェイ両方および H.323 を使用してサポートされるディスプレイを通して呼出してファシリティ IE による名前を呼出しますサポートされます。

## [NI2/NI3 CNID \(ベルコア GR-1367\)](#)

Cisco Unified CallManager 3.3(3) の出現で、CallManager はベルコア GR-1367-CORE 仕様に基づいて Q.931 ファシリティ IE を通ってコーリングパーティ名前をサポートします。これは別名 NI3 CNID サービスです。端的に説明すると示されて、Cisco Unified CallManager PRI ゲートウェイは符号化される CallingName 遠隔操作サービス要素とファシリティ IE を使用できます。

プロトコルとしてプライマリ NI2 を選択するとき、ファシリティ IE チェックボックスの名前を呼出す送信は利用可能になります ([図を 3](#)) 参照して下さい:

### 図 3 – ファシリティ IE オプションの名前を呼出す送信

注: この機能はこの資料で説明されている Q.SIG 実装と変更しませんし、干渉しません。それはまたディスプレイ IE 内の名前テキストを呼出すことの配信の依存しないです。しかしディスプレイ IE およびファシリティ両方 IE があれば、後者は Cisco Unified CallManager によって先行し、使用されます。

## [CallManager 4.x](#)

Cisco Unified CallManager 4.x はコール ディスプレイ制限と呼ばれる新しい機能が含まれています。この機能は含まれるパーティに基づいて呼出すことおよび接続された行のために表示するたいと思う情報を選択することを可能にします。これらのパラメータは Cisco Unified CallManager 4.x でもたらされ、ルートパターンおよび変換パターン コンフィギュレーションスクリーンのこれらのパラメータを設定できます:

- **Calling Line ID Presentation**
  - ネーム プレゼンテーションを呼出すこと
- **Connected Line ID Presentation**
  - 接続されたネーム プレゼンテーション

これらのパラメータの使用に関する詳細については [コール ディスプレイ制限コンフィギュレーション ガイド](#) を参照して下さい。

注: 数にコールを転送し、コールがそこからそれから転送されれば、呼び出し情報を、最後の電話に発信者ID のような、転送することはできません。

注: 発信者名前の最初の文字が送信 外部コールで表示する場合、スイッチタイプが Cisco Unified CallManager Gateway Configuration ページで正しく設定されることを確かめて下さい。

## [共用 ライン](#)

Cisco IP Phone が共用 ライン DN にコールを送信し、電話がリモート側で鳴り始めるとき呼出す電話は「情報呼出に「表示する。現在、呼出す電話は共用 ラインの一部として設定される最後の電話の ID を表示する。共有回線ユーザの 1 つがコールを受信した後、呼出す電話は対応した電話の内部 発信者ID を表示する。

Cisco CallManager リリース 4.1(2) からのこの問題を、前に解決するために、**名前の警告**として知られている新しいパラメータは **Directory Number Configuration ページ** で利用できます。このパラメータは共用 ライン DN で設定されるすべての電話のライン設定によくあります。

## 図 4 –警告名パラメーター

警告名パラメーターの値を設定するとき、設定値は発信者の端に共有回線電話が鳴る間、現われます。共有回線ユーザの1つがコールを受信するとき、呼出す電話は対応した電話の内部 発信者ID を表示する。

このパラメータの使用に関する詳細については、[知識 IP テレフォニー プロトコルの識別 サービス セクション](#)を [Cisco CallManagerシステムガイド、リリース 4.1\(2\)](#) 参照して下さい。

## QSIG を使用した場合ネームと呼出すこと

呼び出し ID ディスプレイか呼出す名前はコールがこの行から送信されるとき被呼加入者電話で出るテキストを示します。Cisco 音声 ゲートウェイが Q インターフェイス シグナリング プロトコル ( QSIG ) を使用して PBX と接続される時、呼出す名前は その PBX に接続される電話で次の場合には表示するかもしれません:

- ネーム プレゼンテーションを使用されて呼出す QSIG は簡単です。
- Cisco IP Phone によって使用される呼出す名前は拡張です。

簡単な呼出すネーム プレゼンテーションは ASCII文字だけ、ティルダを含むか、またはアクセントによってがマーク含まれていないそう非英語 文字使用します。呼出す名前を作ることは Cisco IP Phone から簡単であるために送信 しますか呼出す名前で ASCII文字だけ使用するか、またはユーザーの口ケールとして IP Phone設定で英語米国を使用します。

## ネーム ディスプレイに on Cisco 問い合わせることで抜けている最初文字 7942 IP 電話と

コールが Cisco 7942 IP 電話への PSTN ( 外部 ) から送信されるとき、呼出す名前の最初の文字は電話のディスプレイに現われません。たとえば、呼出す名前が `xyz` なら、IP Phone は `yz` 示します。

この問題を解決するために、Cisco Unified CallManager の PRI の下でディスプレイ IE ボックスの送信余分主要登場人物をチェックして下さい。

## 関連情報

- [Cisco IP フォンの発信者ID 名前ディスプレイ](#)
- [IP テレフォニー プロトコルの概要](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)